



今月の展示 ＜クリスマス＞＆＜冬の本＞

図書室もクリスマスムードいっぱいです。

クリスマスにちなんだ小説や、しかけ絵本などを展示しました。

『不思議の国のアリス』ルイス・キャロル／大日本絵画

『クリスマス・キャロル』ディクス／角川文庫

『雪だるまの雪子ちゃん』江國香織／偕成社

『君にささやかな奇蹟を』宇山佳祐／KADOKAWA



こちらもおすすめ♡

『ムーミン谷の冬』トベ・ヤソソ／講談社

『思いがけない贈り物』エヴァ・ヘー／講談社



＜人権週間＞（12／4～12／10）

図書室では人権に関する本を展示しています。

1人1人が違うことを知り、それぞれの個性を大切にしましょう。

『「ちがひ」ってなんだ？』『「ふつう」ってなんだ？』学研プラス

障害とLGBTについて正しく学べ、理解を深めることができます。

『ぼくはイエローでホワイトで、ちょっとブルー』プレディみかこ／新潮社

イギリス在住の筆者が、地元で底辺中学校と呼ばれる学校へ通う息子の目を通して綴るエッセイ。貧富の差でギスギスしたり、アイデンティティに悩んだり、様々なことを考えさせられます。

『この顔と生きるということ』岩井建樹／朝日新聞出版

外見の悩みとどう向き合う？どんな顔でも幸福な人生をおくるために。

見た目の悩みに直面した人々の人生をたどるルポルタージュ。

『みえるとかみえないとか』ヨシタケシンスケ・伊藤亜紗／アリス館

東京工業大学准教授で「目の見えない人は世界をどう見ているのか」の著者の伊藤亜紗さんと2人で作った絵本。みんなの違い、同じところ、共生する面白さ、難しさを描いています。

『今、世界はあぶないのか？』

世界でおきている問題をみんなで考えていくシリーズです。

私たちにできることを考えてみましょう。



もうすぐ冬休み！ 受験を控えて、落ち着かない毎日を過ごしている3年生へ

『高校受験すぐにできる40のこと』中谷彰宏／PHP 研究所

「自分の名前を丁寧に書くだけで、落ち着ける。」

「左手を添えると、計算を間違えない。」など、受験のコツが40も載っています。

『心を整える。』長谷部誠／幻冬舎

心は鍛えるものではなく、整えるもの。いかなる時も安定した心を備えることが、常に力を出せる秘訣！

『夢をかなえるゾウ』水野敬也／文響社

ゾウの神様・ガネーシャが、関西弁でギャグを連発しながら偉人のエピソードをひもとき、夢のかなえ方を指南してくれます。

『国語は語彙力！受験に勝つ言葉の増やし方』齋藤孝／PHP 研究所

語彙力を高めると、国語の成績が上がるのはもちろんのこと、友達や周りの人たちとより良い関係が築くことができ、毎日の生活や人生が豊かになります。

『大丈夫！キミならできる！』松岡修造／河出文庫

「ポジティブ勘違い、バンザイ！」。勝負を挑むときや何かに躓いたとき…人生の岐路に立ったとき勇気が湧く、松岡修造の応援メッセージ。



1・2年生も読んでみてくださいね！

この他にも、勉強に関する本や面接、高校入試に出題された小説の展示もしています。



＜アドベントカレンダーあります♪＞

アドベントカレンダーには、

クリスマスの豆知識クイズ

が入っています。

正解した人には、クリスマスのしおりをプレゼント♪

ぜひ足を運んでくださいね。

アドベントカレンダー⇒



アドベントカレンダーとは？

12月1日からクリスマス当日までの24日間をカウントダウンする、期間限定の特別なカレンダーのことです。

今年のベストセラーが発表されました！（日販調べ：2022.11.22～2023.11.21）

2023年のベストセラーは…

「小学生がたった1日で19×19までかんぺきに暗算できる本」

（小杉拓也／ダイヤモンド社）でした。

子どもが楽しく算数力を強化できることはもちろん、大人にとっても脳の体操として、圧倒的なわかりやすさと楽しさが話題になり、幅広い層に受け入れられました。

下中で人気だった本は、3月に集計し発表しますのでお楽しみに♪

裏面も見てね→



お知らせ

①冬休みの貸出について

12／11（月）から冬休み貸出期間とします。

1人5冊まで借りられます。

今借りている本は一旦返して、もう一度冬休み用に借りましょう。



累計貸出し状況

4月10日～11月30日まで



クラス	1年生	2年生	3年生
貸出冊数	255冊	480冊	223冊